



【クウェート】



レポーター
あい じま
松井 愛珠 さん
(クウェート・クウェート市在住)



クウェート国
人口：約344万人
面積：17,818km²
首都：クウェート

▼砂浜で遊ぶ家族がいます。



アッサラーム・アライクム!

(「あなたの上に平和あれ!」と言う意味のアラビア語で、日中の挨拶)

私は、2011年11月に夫の仕事の都合でクウェートにやって来ました。まだ半年も経っていませんが、娘(生後8ヶ月)との散歩中に見るクウェートの風景をお伝えします。

近代都市と伝統の町

初めてクウェート市を見た時は、建築中のたくさんのマンションやショッピングモール、漫画「ドラえもん」にでてくるような近代的なデザインの高層ビル、アメリカ資本の飲食店の多さ、整備された道路を猛スピードで走る車、大音量でアラビアンポップスをかけて走るバイクが印象的でした。



▲スーク(市場)では野菜、果物、衣類に雑貨、何でもそろっています。

近代的な町並みとは対象に、伝統的な「スーク」と呼ばれる市場も残っていて、街角の小さな喫茶店では、おじさん達が小さいカップに入った甘い紅茶や水タバコを楽しむ姿が見かけられ、すれ違うと手を振って挨拶をしてくれます。



▲クウェート・タワー
(給水塔や展望台などがあります。)

「国際的」なクウェート

「クウェート国」は、クウェート人が全人口の約3割で、他の7割は近隣アラブ諸国やアジア諸国出身の人々で構成されています。最初はこの割合に少し違和感を感じましたが、ショッピングモールやレストランの従業員、運転手に清掃員、工事現場等、働く人たちはほとんど外国人というのを見れば納得ができます。

私はどこに行くにも娘を連れているのですが、行く先々で皆が娘に声をかけてくれます。今までは生活習慣が全く違う文化圏ですが、こうしてひと時の「国際交流」を楽しんでいます。

クウェートの夏が来る前に…

昨年は、それまで仕事をしてきたスリランカから、出産のため夫の出身国スペインへ、そして今いるクウェートへと、変化と移動の多い1年でした。

5月～9月の「夏」には最高気温が50度を越える事もあり、とても外には出られないというクウェート。冬の今は外に出る良い時期です。休日の広場や遊歩道では、散歩やジョギング、ケバブと呼ばれるバーベキューを楽しむ人々で賑わっています。

夏が来るまでの間、娘とそんな風景を眺めながら、クウェートをゆっくり知っていきたいと思っています。

(文・写真:松井 愛珠さん)